



一般質問(12月15日)質問骨子内容 府民の安全・安心を守る取組について

河川埋積土砂対策

質問 近年、全国的に雨の降り方が局地化、集中化、激甚化してきており、各地で災害が発生している。ひとたび、災害が発生すれば復旧のために人的にも、費用的にも大きな負担になってくる。これからは、単に、災害が起きた時の復旧にとどまるのではなく、様々な大規模自然災害リスクを踏まえた予防型の防災・減災を大きく前進させるべき。

答弁 河川に堆積する土砂対策については、今後、5年間で32河川47箇所とし、今年度は、14河川14箇所で対策します。又、単に土砂を撤去するのではなく、撤去した土砂を川底が低下した箇所に埋戻すなど「河川特性マップ」を活用し進めてまいります。

運転免許試験場への保健師の配置について

質問 超高齢化社会となり、昨今、高齢者の交通事故が増加している。交通事故や交通違反がない高齢者でも、加齢に伴う身体機能や認知機能の低下により運転に不安を感じる方々が増加している。その現状に、丁寧に対応するため、運転免許試験場に医療知識をもった保険師や看護師を配置すべきであると考える。そこで、配置に向けた取組みを伺いたい。

答弁 府警本部としまして、平成29年3月に施行された改正道路交通法に適切に対応するため、4月から高齢者の安全対策係を新たに設置。運転に不安を感じる高齢運転者や家族からの相談に対応。議員お示しの専門知識を有した保健師等による相談対応につきましては、よりきめ細かな助言や指導を行うことができるなど、大変有意義なものであります。平成30年度中、門真及び光明池運転免許試験場において実施いたします。

河川防災情報の提供

質問 昨年、10月20日～23日にかけての台風21号の影響により、大和川流域の地元、住吉区においても避難勧告が発令された。その状況下で、市ホームページへのアクセスが集中し、長時間にわたり、閲覧できない事態が発生するなど、住民にかなりの影響を及ぼした。その事態の検証・改善について吉村市長へ強く要望した。又、住吉区が大和川に接していたこともあり、河川の水位の状況や氾濫への恐怖等、多くの意見がよせられている。

大阪府は、知事重点事業として、平成27年から河川カメラの設置を進めている。河川カメラの画像は、ホームページで公開されており、府民自身が状況を理解し、避難行動に移すための有効な方法である。今後の情報提供のあり方について伺う。

答弁 府民の避難行動に際し、リアルタイムで確認できる重要な情報であることから、本年9月までに重点的に整備する箇所60箇所を選定し、すでに完了しております。

国において「中小河川緊急治水対策プロジェクト」がとりまとめられ、住民避難を支援する目的で治水に特化した低コストの水位計設置を進める方針が示されました。府としても平成30年度からこの水位計の配置を目指します。



地域の皆様のご要望が実現!

横断歩道：子供たちが横断の際、飛び出す危険の恐れを解消



点字ブロック：視覚障害をお持ちの方々から設置要請を受けていました。



松井知事へ平成30年度・予算要望

子育て安心プランを活用した待機児童の解消。
豪雨災害から住民を守る取組等(209項目)



少年少女国連大使が表敬訪問

「JCI JAPAN 少年少女国連大使」に選ばれた大阪府在住の生徒が、国連本部において、プレゼンテーションを行った活動報告のため、表敬訪問されました。

